

防災ボランティアコーディネーター レベルアップ講座を開催



防災ボランティアコーディネーターは、大規模地震や大雨等で被災した際、被災者と駆けつけるボランティアの架け橋となります。毎年夏には、養成講座を開催しています。

能登半島地震で災害ボランティアの関心も高まる中、2月10日（土）に田原福祉センターで、防災ボランティアコーディネーター修了生を対象にレベルアップ講座を開催しました。

受講生の皆さんは、始めに防災ボランティアコーディネーターについての理解を深めた後、被災者のボランティア依頼（ニーズ）への対応方法や、発災から災害ボランティアセンターをどのように立ち上げて運営していくのか、そしてその体制が時間とともにどのように変化していくのかを学びました。

次に、「災害状況を想像する力を身につける」と題してグループワークを行い、大規模地震に被災した後、自身が地域の方たちとどのように助け合い生き抜いていくのか、グループのメンバーと意見交換をしながらワークシートを作り上げ、自分たちの想定した行動を発表しました。

参加された皆さんがお互いの発表を聞くことで、自身が被災した時のことを想像する機会を持つことと、被災時の対応を想定することの大事さを改めて認識することができた時間となりました。



第31回東三河ボランティア集会 in 田原

小さな芽 大きく育て ボランティア活動 ～みんなで参加 つながる絆と広がる笑顔～

2月4日（日）、田原市田原文化会館にて、第31回東三河ボランティア集会が開催されました。

この集会は、東三河のボランティア団体や個人が一堂に会し、新しい仲間との出会いや新たな情報に触れることで活動の活性化を図ることを目的に、毎年会場を移して開催されています。

田原市からは約170名のボランティアが参加し、会場に集まった東三河のボランティアの皆さん約260名と交流しました。

当日の午前中は「視覚障害者団体 さくらんぼ♪」代表の柳田はるかさんの講演会、午後からは展示・体験・交流・活動発表などが行われ、各市町村で取り組まれている様々な活動が紹介され、活発な情報交換が行われました。

来年度は、新城市で開催される予定です。

